

がいし取替作業におけるがいし破損によるお客さま住宅を 損傷させる事象の発生



発生概要

2023年4月14日(金)10時頃、がいし連取替作業を塔上作業員5名、地上作業員3名の計8名で実施。塔上作業員A(起因者)は、C5腕金でがいし連取替作業終了後、次の作業場所であるC6腕金に段取り替えのため、使用していた工具類一式をワイヤーに付けC6腕金へ降ろした。その後、起因者はC6腕金へ移動し、ワイヤーに巻き上がり防止を施していない状態で工具類を全てワイヤーから外したため、ワイヤーが巻き上がり、C1がいしが破損。がいし破片が周囲へ落下し家屋が損傷。

破損した家屋への対応（4月17日現在）

- ✓ 4/14 屋根の穴あき4軒、窓ガラス破損1軒が発生し、当社ならびに現場代理人で謝罪ならびに補修手配を実施。窓ガラスは当日補修済み。屋根穴あきは仮補修を実施。
- ✓ 4/15 屋根の穴あき（2軒）の本補修実施済み。
残る2軒は材料手配ができ次第、4/21に本補修予定。

その他情報

- ✓ 人身災害：無
- ✓ 設備情報：●●線No.▲▲鉄塔
- ✓ 施工会社：元請：K(株) 1次下請：(有)K
- ✓ 作業者：一次下請 男性 年齢45歳 経験10年

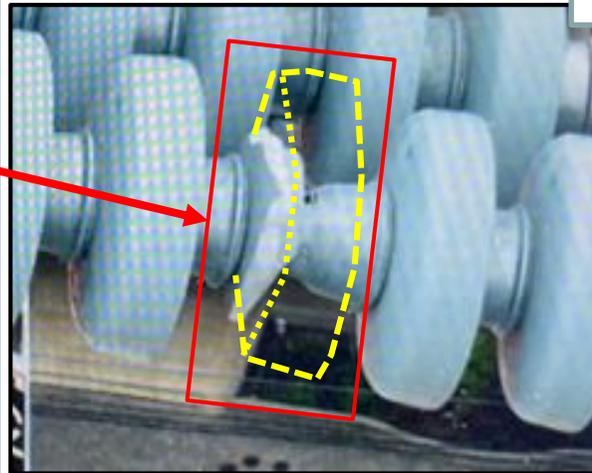
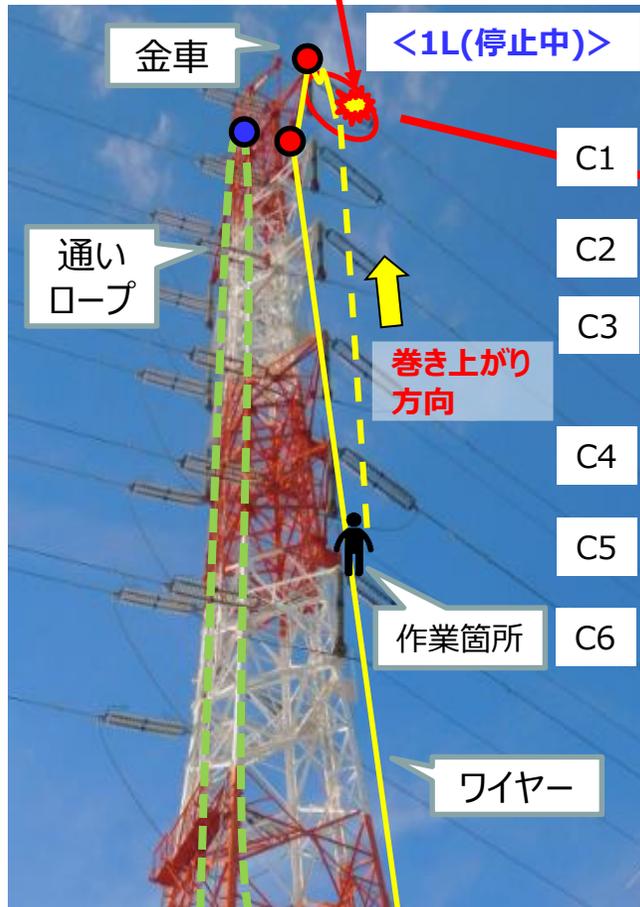


1. トラブル発生状況

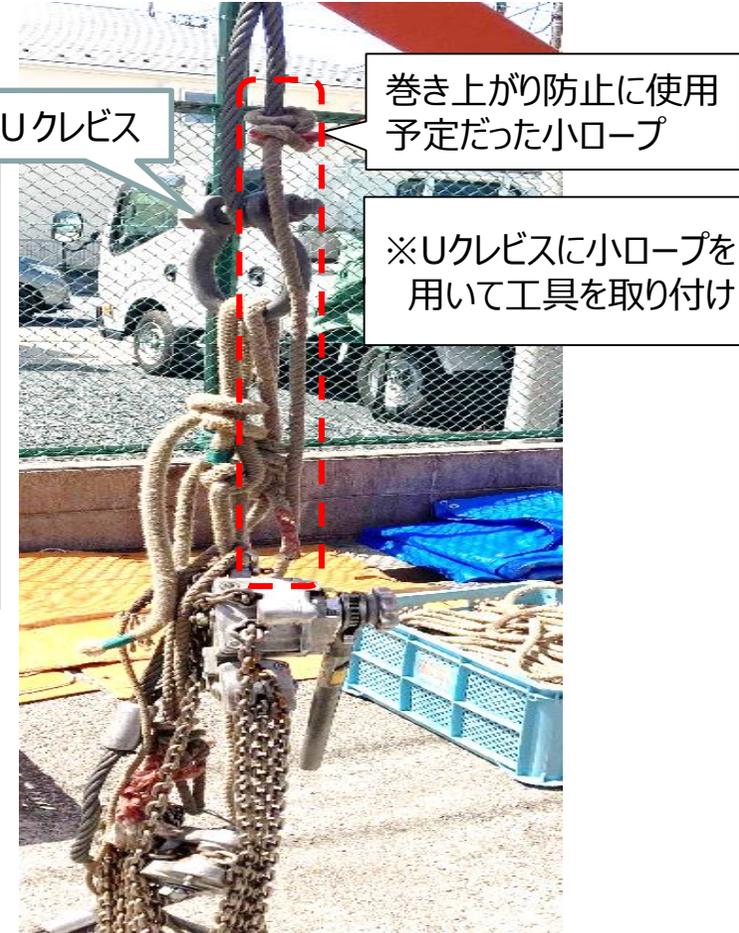
- 塔上作業員Aは、C5腕金でがいし連取替作業終了後、次の作業場所であるC6腕金に段取り替えのため、使用していた工具類一式をワイヤーに付けC6腕金へ降ろした。
- その後、自らC6腕金へ移動し、ワイヤーに巻き上がり防止を施していない状態で工具類を全てワイヤーから外したため、ワイヤーが巻き上がり、C1がいしに接触し破損。がいし破片が落下し、家屋を損壊。

〈現場状況〉

※台帳写真より



✓千代田線No.28 1L 若側 外側
がいし16枚のうち鉄塔側 (アース側)から7枚目を破損



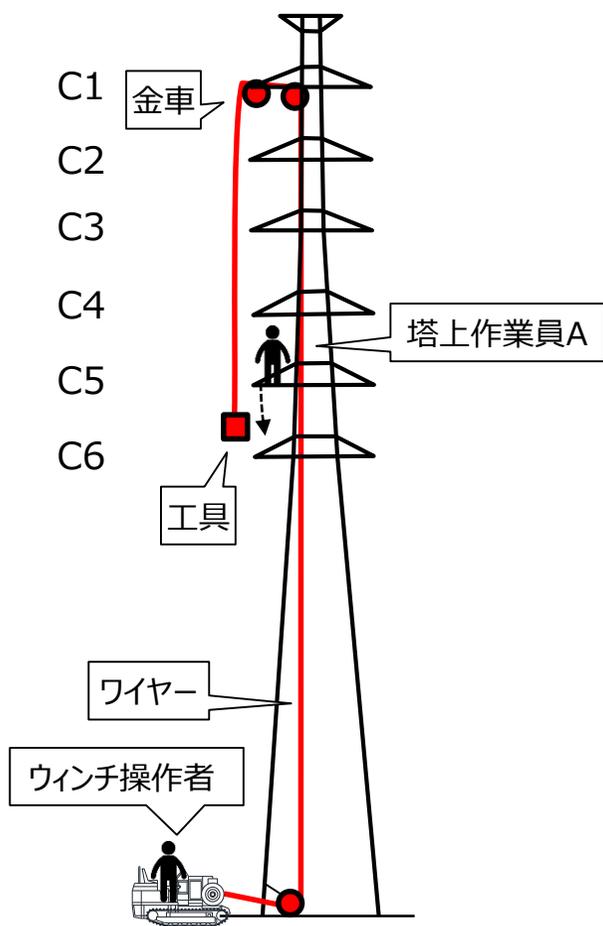
〈ワイヤーへの荷吊り状況：再現〉

2. トラブル発生状況(がいし破損までの流れ)



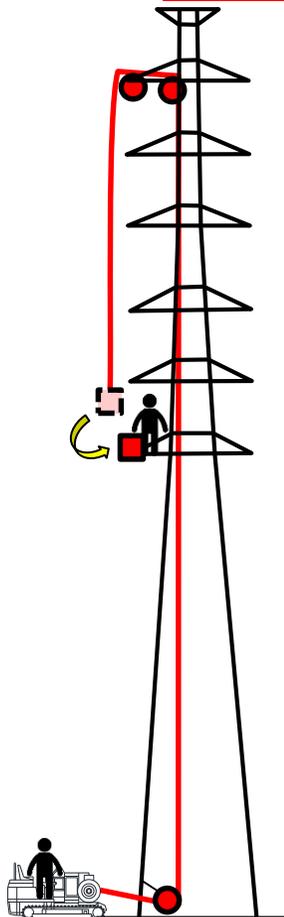
Step1

塔上作業員AはC5腕金での作業を終えたことから、次の作業位置であるC6腕金までワイヤーを使い工具を降ろし、自身もC6へ移動した。



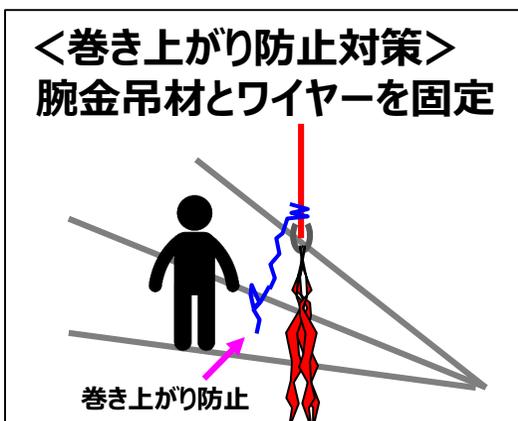
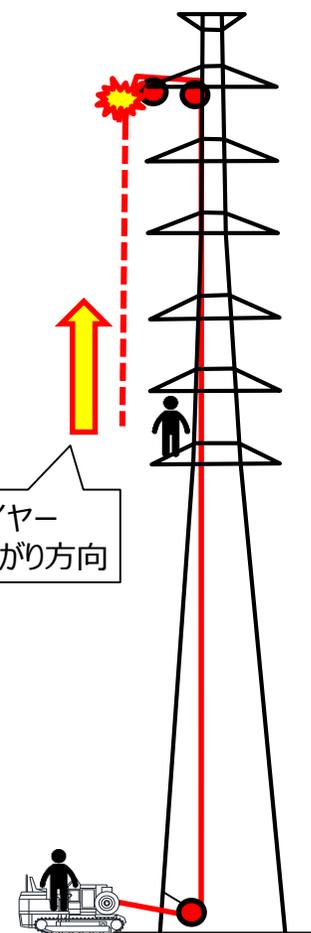
Step2

塔上作業員AはC6腕金でワイヤーから工具を外して腕金へ仮置きした。塔上作業員Aは、**工具を外す前に巻き上がり防止を施さなかった。** **問題点**



Step3

C6腕金で手を離れたワイヤーがC1まで巻き上がり、C1のがいし1個に接触。がいしが破損し、がいし破片が周辺の家屋を損傷させた。



【ワイヤー先端状況】



ワイヤー

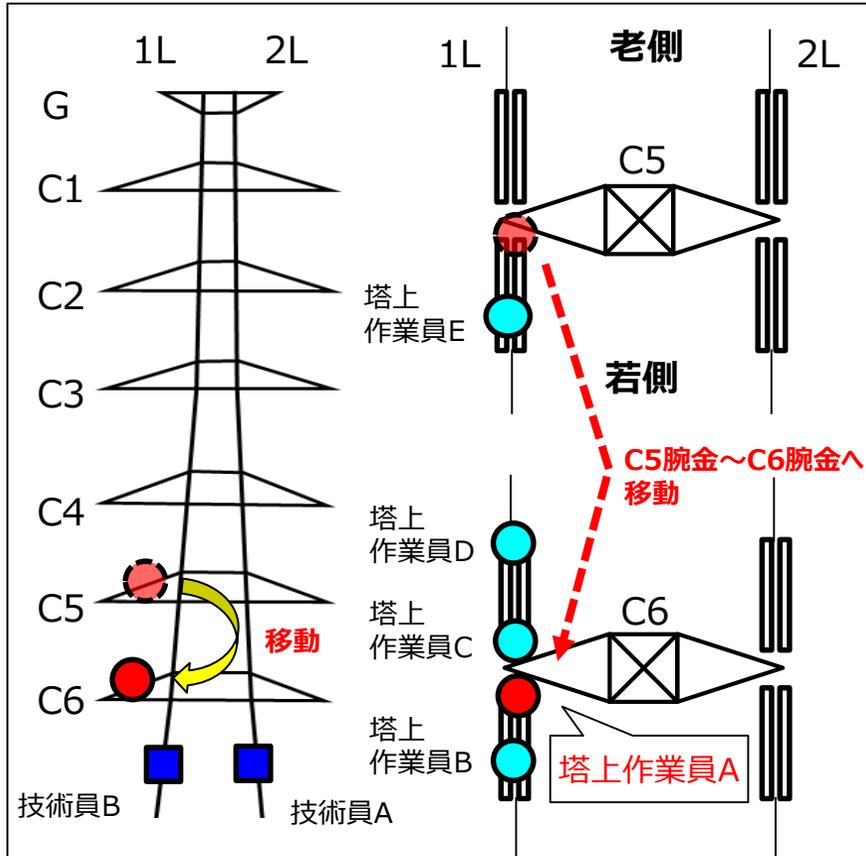
Uクレビス

ワイヤー
巻き上がり方向

3. 作業員配置状況



作業員配置図 (塔上)



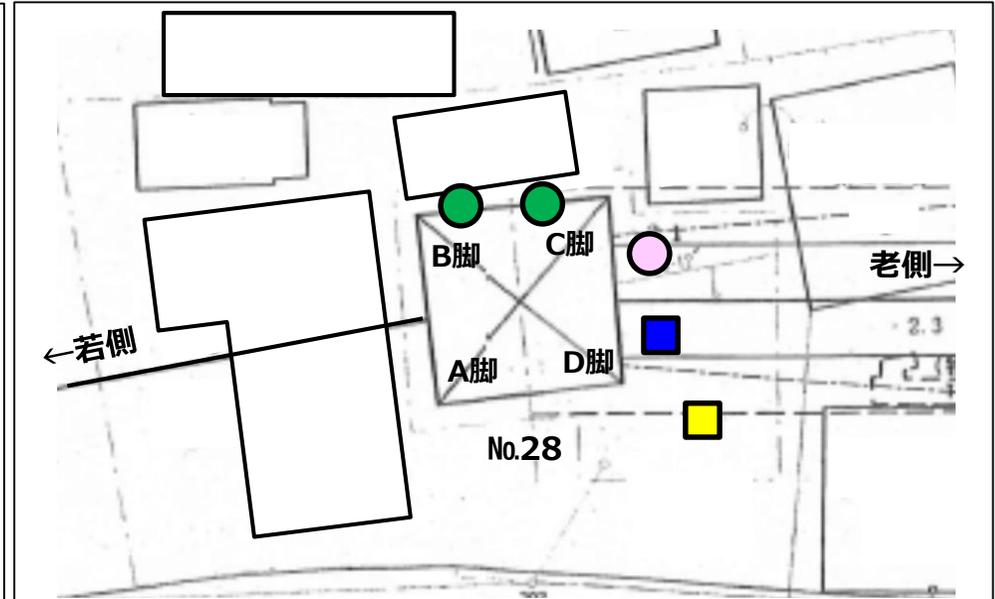
技術員B 技術員A

B脚 A脚

塔上作業員：5名 (起因者含む)

※技術員2名は電線弛度観測のためC6から下側4m付近にいたため、上部の状況は確認していない

作業員配置図 (地上)



地上作業員：3名

<凡例>

- : 現場代理人
- : 塔上作業員A
- : ウインチ操作者
- : 塔上作業員B~E
- : 技術員
- : 地上作業員